

お問い合わせ先

まずはお気軽にご相談ください

新潟市
東京事務所

TEL **03-5216-5133** (平日8:30-17:30)

MAIL **office.tokyo@city.niigata.lg.jp**

詳しい資料のご請求・ご相談は、お気軽に上記新潟市東京事務所までご連絡ください。
物件や視察など、ご要望に応じてこちらからご提案差し上げます。

市内視察ツアー

新潟市内の現地調査ツアーは以下のような内容で開催しています。詳細内容は貴社のご要望に応じ個別に設定いたします。全て個別対応ですので、ご安心ください。進出検討時の情報収集として、ぜひご利用ください。

1. オフィス物件見学

ご希望の条件に合う物件をお調べし、不動産業者と共にご案内いたします。



2. 進出企業訪問

すでに新潟市へ進出している企業を訪問し、新潟の人材、地域の企業・コミュニティ等、リアルな声をお聞きいただけます。



3. 教育施設見学

人材育成の現場をご覧いただき、どのような人材獲得が期待できるのかをご確認いただけます。



国内主要都市への抜群のアクセス



NIIGATA

日本海
拠点都市 **新潟**

新潟市企業立地ガイド

新潟ではじめる



新潟市企業誘致担当部署

新潟市経済部企業誘致課

〒951-8554 新潟市中央区古町通7番町1010番地 古町ルフル5階
TEL 025-226-1689 / FAX 025-228-2277
E-mail kigyo@city.niigata.lg.jp

新潟市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目4番1号 日本都市センター会館9階
TEL 03-5216-5133 / FAX 03-5216-5134
E-mail office.tokyo@city.niigata.lg.jp



新潟市ホームページ

<https://www.city.niigata.lg.jp/business/kigyo/>

IT企業集積地として
生まれ変わりつつある
新潟駅から2kmのエリア

- 01 進出企業から新潟を知る
- 02 「にいがた2km」の秘密
- 03 知られざる新潟のポテンシャル

01 進出企業から新潟を知る



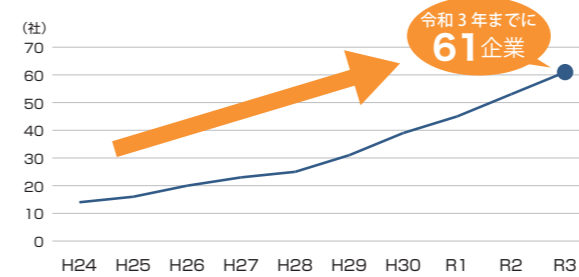
新潟を選ぶIT企業が増えています

右記グラフにある通り、平成24年から令和3年にかけて、新潟県外から新潟市への移転もしくは拠点の設置をされた企業数は右肩上がりが増えていきます。

中でも首都圏をはじめとするIT関連企業の引き合いが多く、年間平均7~8件の企業から進出いただいています。また特に「にいがた2km」と呼ばれる、新潟駅から古町エリアをつなぐ、メインストリート周辺約2kmのエリアへの進出が進んでおり、企業の垣根を超えた様々な取り組みが生まれています。

新潟市へ進出したIT企業数

多くの企業に新潟を選んでいただいております、右肩上がりが増えてきています。



新潟市へ進出されたIT企業の所在地

新潟市中心市街エリア(にいがた2kmエリア)に集中しています。



進出企業様の声

株式会社イードア
新潟支社長
石川 翔太 さん



株式会社イードア
新潟支社

2020年11月開設。イノベーションをキーワードにしたコンサルティング事業を展開。新潟大とのアントレプレナーシップ共同研究、新潟の中小企業への新規事業・イノベーション創出コンサルティング。スタートアップ支援。本社東京。創業11年。

会社情報



INSIGHT LAB株式会社
代表取締役CEO
遠山 功 さん



INSIGHT LAB株式会社
新潟研究開発センター

2020年4月開設。県内のビッグデータ活用に関する新潟大学との共同研究及び、地方自治体を対象としたデータ活用コンサルで、新潟県内のDX化を支援。本社東京。創業16年。

会社情報



決め手は信頼できる「頼れる人」

東京からの移動を鑑みて、新潟以外に仙台・名古屋も検討しましたが、新潟県や新潟市の方と話す中で「この人たちのところで事業ができればいいな」と素直に思えた安心感・信頼感が決め手となりました。見ず知らずの土地でビジネスを始めるわけですから「頼れる人」の存在は大きい。「東京のために」と言っている人は東京にいませんが、「新潟のために」と本気で思っている人が新潟にはたくさんいます。こういう大きい目標に向かって動くことができるって本当に大切なことだと思っていて、これは新潟の皆さんが全国に誇れることだと思っています。

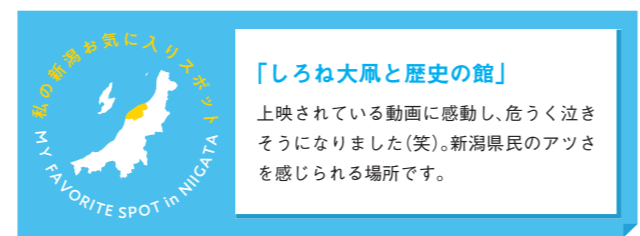
人材の掘り起こしがいのある地

新潟に来てからすでに4人採用しましたが、みんな優秀です。たぶん県民性もあるのかもしれませんが、基本素直で、こちらが望む「自分で課題を見つけて自分で解決・改善していく働き方」を伝えるとすぐに実践ができる。人材の面で言うと、

掘り起こしがいのある地だと思います。

「総アントレプレナーシップ」を新潟に

現在開業率の低い新潟県ですが、私はこれを「ただ未開拓なだけ」と捉えています。現に起業支援のコンサルを事業としている企業は、まだ新潟にわずかしかありません。我々には東京で様々なスタートアップ企業の経営支援をしてきたノウハウがあるので、これらを活かして、若い人だけでなく老若男女を対象とした「総アントレプレナーシップ」を新潟に根付かせていきたいと考えています。



決め手は新潟のアツイ人たち

私の父が村上の出身で、毎年夏休みは村上で過ごしていました。自分が大人になるにつれ、だんだんと元気がなくなっていくこの大好きな地をどうにかしたいと思ったことがきっかけとなり、「新潟県全体で社会課題を解決していかなくては」と、新潟への進出を決めました。拠点を構える場所は新潟県内でいくつか迷ったのですが、最後は情熱的な会話ができる役所のアツイ人たちの存在が決め手となり、新潟市に決めました。新潟の人って意外とアツイものを持っている人が多いですね。あんまり表には出さないですけど(笑)。

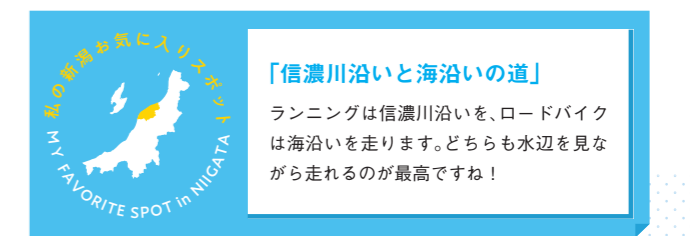
イノベーションが生まれやすい環境

正直、新潟県内に社会課題は散在しています。あちこちにある。だからワクワクするんです。課題解決のお手伝いが仕事である我々にとって、こんなに魅力的な場はないです。イノベーションは劣悪な環境をなんとかしようとして生まれるものですし、歴史的に見てもテクノロジーが進化するのには国難に立

ち向かう時です。そういう意味でも、ここ新潟には、今後成長するポテンシャルがあると感じています。

「データ文化」を新潟に

「何事においても、データを活用していく文化」これが「データ文化」です。これを新潟に根付かせていきたいと考えています。新潟大学との共同研究「越後データプラットフォーム」もその取り組みの1つで、県内のデータを収集・活用し、最終的には市民生活向上のためのツール開発につなげます。



02 にいがた2kmの秘密

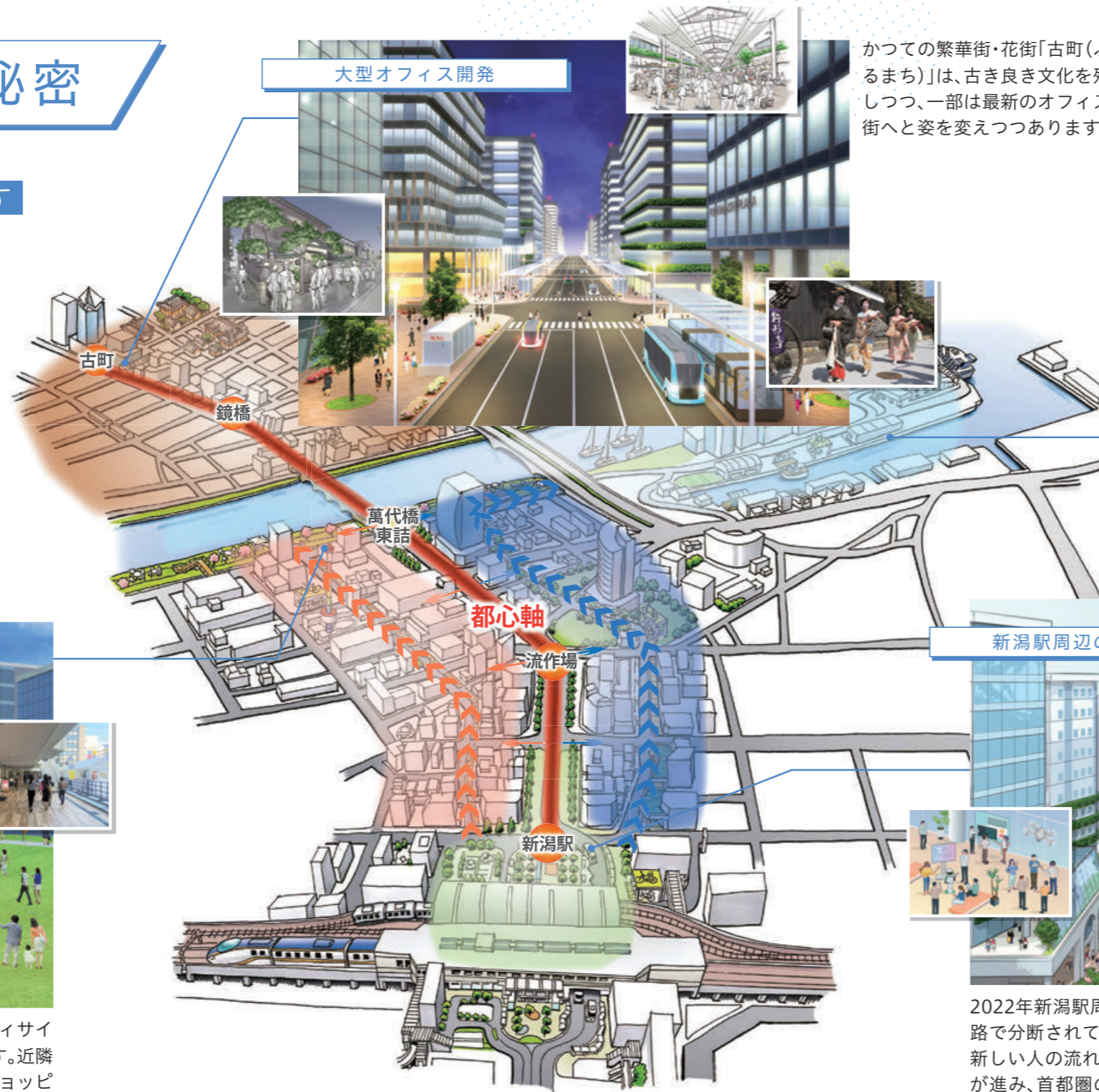
再開発・IT系企業の集積が始まっています



※ロゴマークについて
「2」は躍動感を、「K」は人を、「m」は新潟のシンボル萬代橋(ぼんだいばし)を表現しています。

「にいがた2km」とは

新潟市の中心地(新潟駅、万代、古町エリア)をつなぐほぼ2キロメートルの新潟のメインストリート周辺エリアの呼称。新潟市は、「にいがた2km」を成長エンジンとして、「次の世代も希望を持てる」、「好き!」や「楽しい!」を感じられるまちづくりに取り組んでいます。



かつての繁華街・花街「古町(ふるまち)」は、古き良き文化を残しつつ、一部は最新のオフィス街へと姿を変えつつあります。

港を活かしたイベント

MICEをはじめ、大型のイベント開催が可能な大型展示ホール等、港周辺の海辺での賑わい創出のための施設が整備されています。近隣の新潟の食が集まる商業施設は、いつも観光客で賑わっています。

豊かな自然の活用



水上バスの運行や川岸での飲食・イベントエリアの設置、シティサイクルなど、信濃川の水辺を生かした取り組みが始まっています。近隣の商業施設では、たくさんのショップや飲食店が立ち並び、ショッピングやイベントで街は活気にあふれています。

新潟駅周辺の再開発

2022年新潟駅周辺が大きく変わります。JR在来線が高架化され、線路で分断されていた新潟駅の南北が容易に通行可能となることで、新しい人の流れが期待されます。駅周辺のオフィスビルの建て替えが進み、首都圏のITベンチャー企業をはじめ、新しい企業による事業が芽吹き始めています。

企業の垣根を超えた取り組み・次世代プラットフォームの整備 (新潟市経済部成長産業・イノベーション 推進課: TEL 025-226-1694)

特区制度等を活用したドローン実装への取り組み



- 市街地におけるドローン飛行の規制緩和、農業利用促進などドローン利活用に向けた取り組みを推進
- 2020年度に民間企業による長時間対空型の固定翼ドローンの飛行実証を支援し、約4時間の連続無着陸飛行に成功
- 2021年度に都市部(新潟駅南口エリア)では国内初となるドローン物流の実証実験に成功

スタートアップ企業支援 食農分野のイノベーション促進



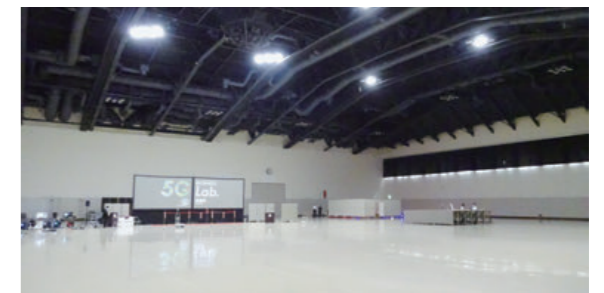
- フードテックの世界トレンド等をテーマとしたセミナー開催
- 市内事業者へアドバイス・スタートアップ企業とマッチング
- 新事業創出・集中コンサルティング支援
- 農業や農産物を活用した実証事業・テストマーケティングの実施

デジタル技術の活用と異業種交流を通じ 新規事業創出を後押しする「DXプラットフォーム」



- 業種・業界の垣根を超えた会員企業同士がプロジェクトを立上げ、個社で取り組むことが難しい新規事業創出を目指す
- 市内IT企業と金属加工業12社によるクラウドを活用した共同受注プラットフォーム構築を目指すプロジェクトをはじめ、様々なDXプロジェクトが活動中

市内大型コンベンション施設に 国内最大級5Gラボを開設



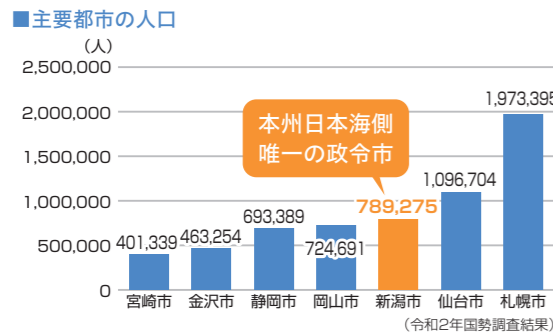
- 無柱4,455㎡の展示ホール「新潟市産業振興センター」に、大規模な展示会や見本市、各種大会などに対応できる5G環境を整備し、実証拠点「5Gビジネスラボ」を開設
- 5Gを活用した製品やサービス、イベントなどの各種実証実験が実施可能

03 知られざる新潟のポテンシャル



豊富な人材

本州日本海側一の人口の多さ



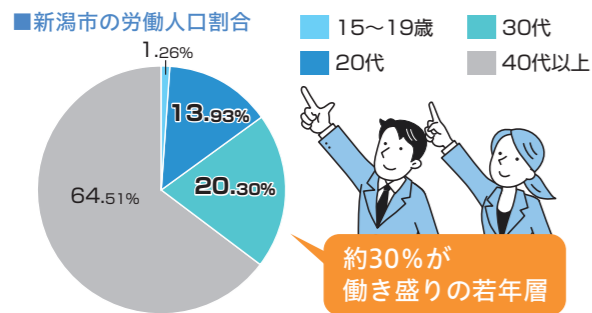
企業に優れた人材を供給する教育機関が充実

新潟市内に10大学・4短大・44専修学校があります

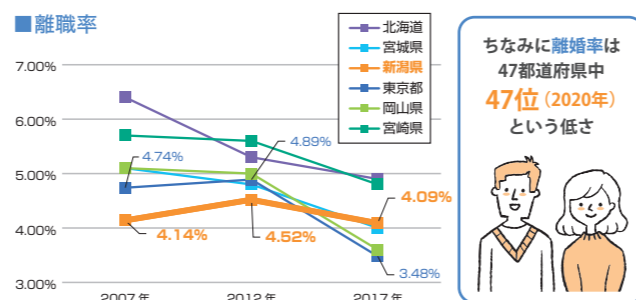
〈大学〉		〈情報系専門学校〉	
区分	学校名	区分	学校名
国立	新潟大学		新潟情報専門学校
県立	新潟県立大学		新潟コンピュータ専門学校
	新潟薬科大学	IT系	新潟高度情報専門学校
	日本歯科大学 新潟生命歯学部		日本アニメ・マンガ専門学校
	新潟国際情報大学		フォーラム情報アカデミー専門学校
私立	新潟青陵大学		新潟デザイン専門学校
	新潟医療福祉大学		
	事業創造大学院大学		
	新潟食料農業大学		
	開志専門職大学		

市内の大学・専修学校の
新卒者は年間約12,000人
大学卒 約3,800人 / 短大卒 約700人 / 専修卒 約7,500人

労働人口の約3割が働き盛りの若年層

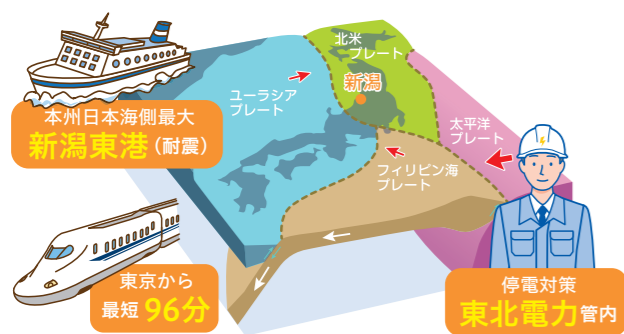


離職率も離婚率も低く我慢強い県民性

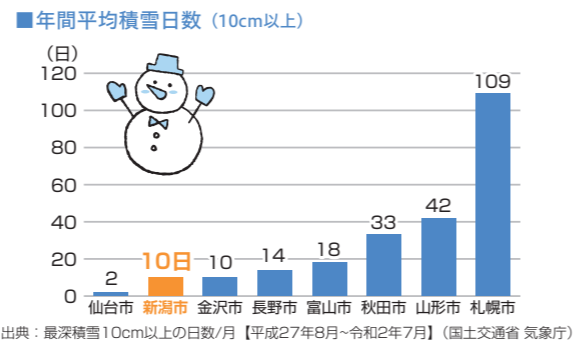


環境面の優位性

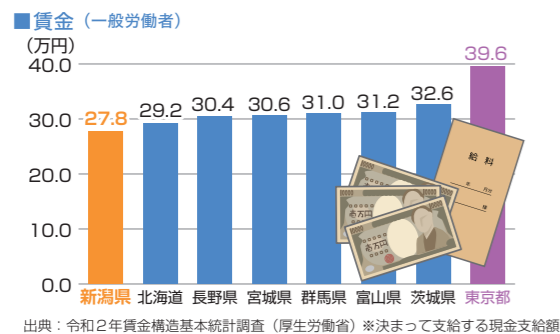
東京から1番近いBCP最適地



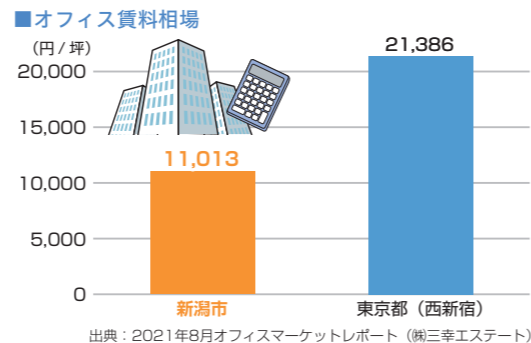
意外に少ない積雪



賃金相場は東京の約7割



オフィス賃料相場は東京の約半分



強固な産官学連携の仕組み



充実した企業立地支援制度

- 市内視察ツアーの企画**
進出検討する際の情報収集支援として、新潟市内の現地調査ツアーを企画させていただきます。気軽にお問い合わせください。(オフィス物件内覧・市内進出企業の訪問、大学専門学校見学、人材派遣会社にて市内求人状況説明等)
 - 事務所賃料支援【新潟県・市制度併用した場合】**
【にいがた2km内の新築オフィス入居の場合】
通常賃料の**5% (95%支援) 負担で3年間入居可能**
【その他の市内オフィスビル入居の場合】
《R4年度限定》※2年目以降は以下の支援制度に移行
通常賃料の**32% (68%支援) 負担で入居可能**
《R5年度~》
通常賃料の**60% (40%支援) 負担で5年間入居可能**
 - 人件費、人材確保支援**
県 ① 新規雇用者(常用)等の年間給与の1/5(5年間)補助
② 人材確保等(採用活動、研修、転勤費用等)年間経費の1/5(5年間)補助 ※新卒・U・Iターンに限る
市 【にいがた2km内の新築オフィス入居のIT企業の場合】
新規雇用者数×100万円(3年間)、非正規雇用者数×25万円(3年間)補助 ※Uターン・新卒者正規雇用した場合は、50万円加算
【その他の市内オフィス入居の場合】
新規雇用者数×50万円(3年間)、非正規雇用者数×25万円(3年間)補助
 - 税制優遇**
① 法人県民税の優遇(法人住民税) 超過課税分を1/2(3年間)
② 法人事業税の優遇 所得割を1/2(3年間)
③ 不動産取得税の優遇 課税免除
④ 法人税の優遇(国税) 税額控除又は特別償却
- 滞在期間1週間以上で現地調査経費(宿泊費・交通費)の支援も